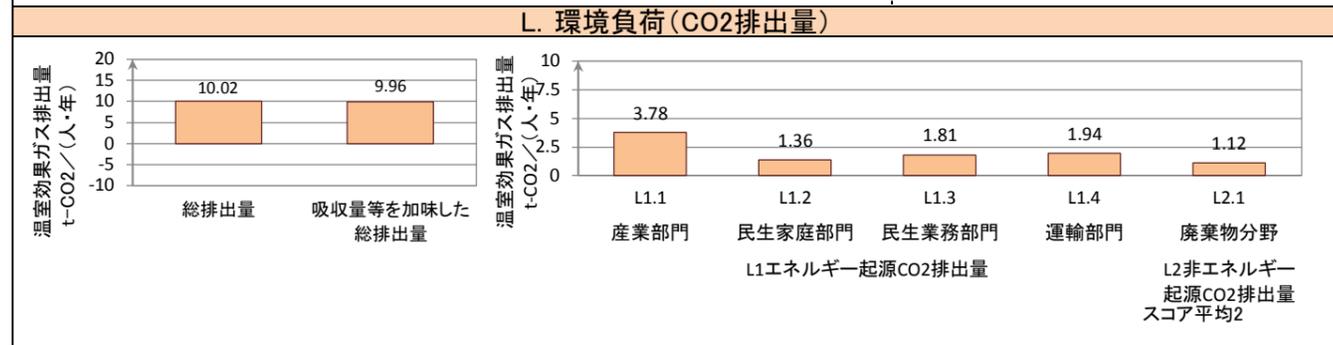
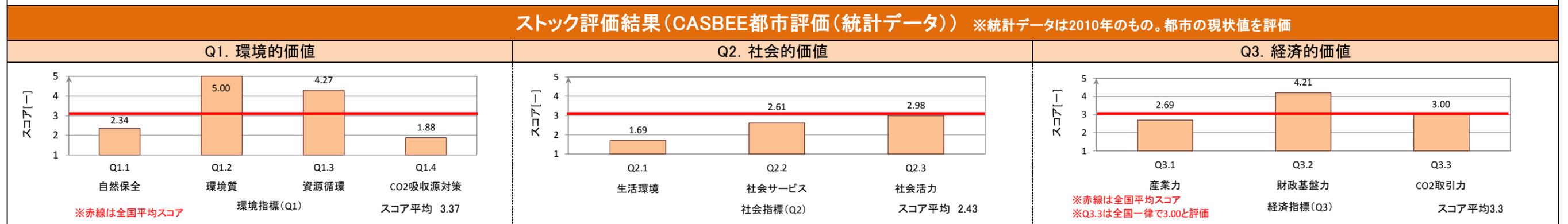
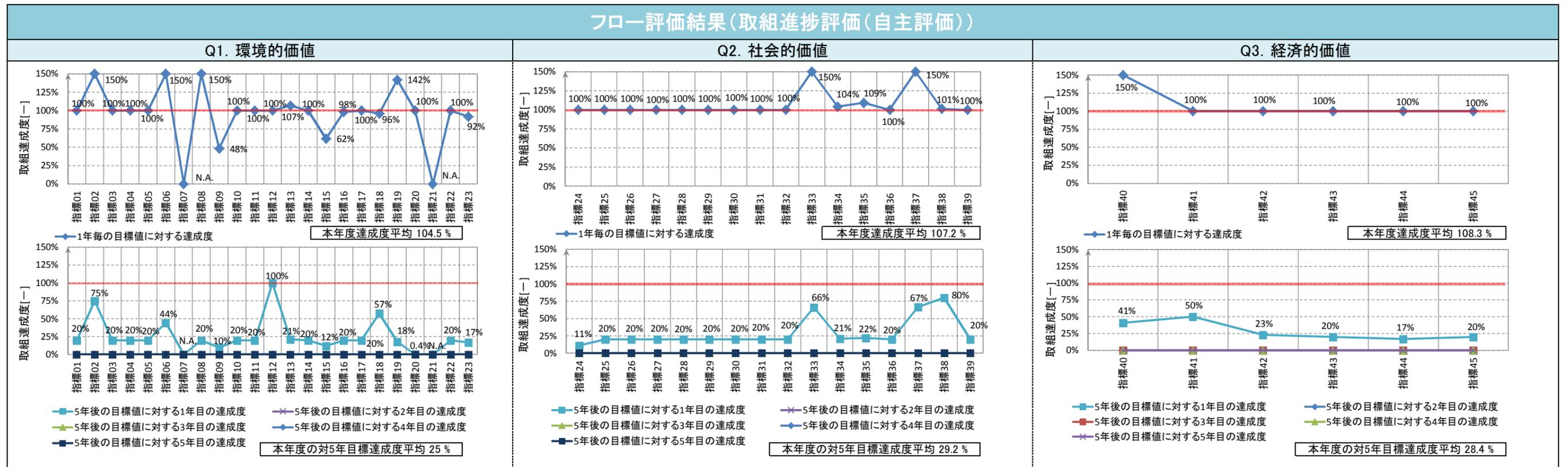


# 評価結果総括表 (2013年暫定版)

<p><b>福岡県 北九州市</b></p>	<p>人口: 97.0万人 世帯数: 42.5万世帯(平成25年3月末現在) 就業人口: 42.5万人(平成22年度) 市内GDP: 3.4兆円(平成22年度) 面積: 488万km<sup>2</sup>(うち森林面積187万km<sup>2</sup>)</p>	<p><b>平成24年度の 取組の都市総括</b></p>	<p>平成24年度においては、各取組の目標を確実に達成するだけでなく、先駆的事業や本市独自の取組を推進するとともに、環境・社会・経済のいずれかが単独の価値ではなく、複数の価値を創出することを目標として取組を推進した。 代表的な取組成果としては、(1)低炭素・省エネルギー分野では、北九州スマートコミュニティ創造事業において、ダイナミックプライシングの実証実験を行い、地区全体では日本初となる省エネ効果が得られた。(2)自然環境・生物多様性分野では、生物の多様性を確保しながら、市民が自然とふれあい、都市に身近な自然環境を学んでいく場として日本最大級となる「響灘ビオトープ」が本格オープンし、2万人以上が来場した。(3)地域の介護・福祉分野では、「ふれあい花壇・菜園」を開始し、まちなかの緑を増やすとともに、高齢者の生きがい・健康づくりや他世代交流を推進した。(4)国際環境ビジネス分野では、環境国際協力で培った実績・ネットワークを活かしながらエネルギー供給についてのFS調査を行うなど取組の芽が生まれ、インドネシア・スラバヤ市と環境姉妹都市に関する覚書を締結した。</p>
----------------------------	---	-----------------------------------	--



#### 推進ボードからのコメント

フロー評価では、非常に多くの課題に意欲的に取り組んでおり、一部には計画を上回る進展をみている取り組みもあり、引き続き意欲的な取り組みが期待される。  
ストック評価では、北九州市らしく環境質や資源循環での蓄積が顕著である一方、社会的価値のスコアの引き上げが今後の中期的な課題。

#### 推進委員会からのコメント

非常に順調に進捗している印象を持った。  
環境未来都市の中でも非常に先進的な印象を受けた。順調である。  
CASBEE評価Q2.1生活環境の値が他の軸と比較すると悪いので、長期的な視野を持って取組んでいただきたい。

# 評価指標リスト

指標番号	価値分類	評価指標
指標01	環境	低炭素で安定・安価なエネルギー拠点の形成
指標02	環境	二酸化炭素排出量の削減率(%)
指標03	環境	二酸化炭素排出量(t-CO2)(整備完了後)
指標04	環境	エコスクールモデル事業の実施校数
指標05	環境	市有施設の電力使用量の削減率(%)
指標06	環境	照明灯のLED化数(道路)(灯数)
指標07	環境	二酸化炭素削減量(万t-CO2/年)
指標08	環境	中小企業省エネ設備導入促進補助(件数)
指標09	環境	太陽光発電の新規導入量(MW)
指標10	環境	風力発電システム導入量(計画策定後)
指標11	環境	工場の基幹的設備の完了 二酸化炭素削減量(整備完了後)
指標12	環境	グリーンショールーム化
指標13	環境	新規研究開発プロジェクト(件数)
指標14	環境	自転車利用環境の向上
指標15	環境	CO2排出量削減(t-CO2)
指標16	環境	植樹本数(本)
指標17	環境	曾根干潟の生物種数の減少(種数) (生物種数が減少しないこと)
指標18	環境	エコツアー参加者(人)
指標19	環境	誘客数(人)
指標20	環境	使用済み小型電子機器等回収量(t)
指標21	環境	使用済みリチウムイオン電池の回収量(t)
指標22	環境	研究開発の実施(件数)
指標23	環境	プラスチック製容器包装の分別協力率(%)
指標24	社会	低床式バスの導入(台)
指標25	社会	低床車両の導入(編成数) ※筑豊電気鉄道、北九州モノレール
指標26	社会	健康づくりの取組が充実してきたと感じる市民の割合(%)
指標27	社会	地域医療の取組が充実してきたと感じる市民の割合(%)
指標28	社会	地域リハビリテーションの取組が充実してきたと感じる市民の割合(%)
指標29	社会	高齢者が自分自身の健康状態を「よい」又は「まあよい」と感じる割合(%)
指標30	社会	1年間に地域活動に参加した高齢者の割合(%)
指標31	社会	就業したり自治会役員、ボランティア等社会貢献する高齢者の割合(%)
指標32	社会	市民が地域における見守り、支え合いのネットワークが充実してきたと感じる割合(%)
指標33	社会	認知症サポーター養成数(人)
指標34	社会	環境学習体験校(校)
指標35	社会	スクールヘルパー延べ活動人数(人)
指標36	社会	体育の授業以外で継続的な体力向上を図る取組をしている学校の割合(%)
指標37	社会	特別支援学級設置校数(学級数)
指標38	社会	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合(%)
指標39	社会	子育て支援の取組が充実してきたと感じる市民の割合(%)
指標40	経済	国際環境研修員受入数(人)
指標41	経済	戦略的国際環境協力事業の件数(件数/年)
指標42	経済	データセンター延床面積(m <sup>2</sup> )
指標43	経済	グリーンシティの輸出(累計)(都市)
指標44	経済	国際ビジネス案件数(累計)(件数)
指標45	経済	技術・ノウハウのパッケージ輸出

環境未来都市 PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリスト

作成日：平成25年5月31日  
 作成者（部署／氏名）：北九州市総務企画局政策調整課／  
 承認者（部署／氏名）：北九州市総務企画局政策調整課／

確認事項	チェック項目	確認根拠	確認	是正処置
①環境未来都市計画及び目標の策定	環境未来都市計画の各取組に中長期(5年後)および単年度(1年後)の目標が設定されている。	北九州市環境未来都市計画書	✓	
	全ての目標値は定量的に評価できる。定量的に評価できない目標値は、その進捗を計測する代替手段がある。	北九州市環境未来都市計画書	✓	
	全ての取組においては責任者が定められており、明文化されている。	取組事業担当一覧	✓	
②実施体制の構築	構成員間の役割分担・責任分担が明文化された体制図が作成されている。	北九州市環境未来都市の執行体制	✓	
	部局間、事業間の連携を図るために、北九州市「環境未来都市」等庁内推進本部、北九州市環境未来都市コンソーシアムを設置している。	北九州市環境未来都市の執行体制 北九州市未来都市コンソーシアム体制	✓	
③都市間連携・ネットワークの有効活用	岩手県・釜石市と連携協力協定を締結(平成25年2月)。スマートコミュニティ創造事業などの成果を活用した被災地復興支援を進める。		✓	
	韓国・釜山広域市とエネルギー分野について協約書締結(平成24年7月)		✓	
	中国・大連市とは友好都市締結(昭和54年5月)以来、長年にわたり環境国際協力を行っている。		✓	
	ベトナム・ハイフォン市と友好協力協定を締結(平成21年4月)。環境・水道分野での国際協力が進む。		✓	
	カンボジア・9主要都市の水道計画への参画に関する覚書締結(平成23年12月)		✓	
	インドネシア・スラバヤ市と環境姉妹都市に関する覚書締結(平成24年11月)		✓	
	成功事例を他へ展開するために、世界146カ国・7,059人(平成24年度末現在)にのぼる研修員受入実績をもつ(財)北九州国際技術協会(KITA)や、(独)国際協力機構(JICA)との連携協定(平成25年2月締結)を活用している。		✓	
④関係者の参画	経済協力開発機構(OECD)が取り組む「グリーンシティプログラム」のモデル都市に、パリ、シカゴ、ストックホルムとともに、アジアで初めて選定されており(平成23年6月)、そこから得られた知見を自らの活動に反映する。		✓	
	全体計画の立案から、その実行、見直しの全てのフェーズにおいて関係者が参画している。		✓	
⑤関連文書の記録・作成	環境未来都市計画において各取組に参画が必要な関係者が特定されており、明文化されている。	北九州市環境未来都市計画書	✓	
	文書の作成者、承認者が決まっている。また文書・記録の管理を実施する責任者が決まっており、明文化されている。	市文書管理規則等	✓	
	作成された文書・記録の保管場所・保管期間が決まっており、関係者に周知徹底されている。	市文書管理規則等	✓	
⑥取組状況の定期的な確認並びに問題の是正および予防	ウェブサイト等のICTを活用した情報開示を行っている。	市HP等	✓	
	計画の中で、定期的に「取組評価」の自主評価が明文化され、かつ実行している。	北九州市環境未来都市計画書	✓	
	定期的な自主評価の結果、目標の達成が難しいと判断された取組に対しては確実に是正処置を施すよう、その確認をする責任者が決められている。	取組事業担当一覧	✓	
⑦代表者による全体の評価と見直し	計画の中で、毎年PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリストの自主評価が明文化され、かつ実行している。	北九州市環境未来都市計画書	✓	
	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。	北九州市環境未来都市計画書	✓	
⑧各自治体独自の仕組み	代表者による全体評価において評価すべき項目が決められている。	北九州市環境未来都市計画書	✓	
	北九州市環境未来都市コンソーシアムは、環境産業推進会議前会長(商工会議所副会頭)をプロジェクトマネージャーとし、市民団体・企業代表・NPOなど幅広い組織・個人から構成している。当コンソーシアムでは計画の評価・進捗管理だけでなく、組織を横断する社会的な課題について独自の検討を行っている。	北九州市未来都市コンソーシアム体制	✓	

是正処置への対応の詳細

**代表者による確認**

北九州市環境未来都市計画の実施にあたっては、部局間や事業間の連携・調整を図りながら計画を実施していくための推進体制として「北九州市『環境未来都市』等庁内推進本部」を、市民団体・企業代表・NPOなど幅広い主体が協同する推進体制として「北九州市環境未来都市コンソーシアム」を設置し、主体横断的・部局間横断的に計画の実施を進めた。

都市間連携・ネットワークについては、本市がこれまでの環境国際協力で培ってきた海外ネットワークや、経済協力開発機構(OECD)が取り組む「グリーンシティプログラム」のモデル都市に選定されたことを活かして執行体制を構築しており、平成24年度には、岩手県・釜石市、韓国・釜山市、インドネシア・スラバヤ市等との連携協定を締結した。これらのネットワークを有効活用して、本市の取組みの更なる高度化や成功事例の普及展開を図っている。

各取組みの評価と見直しについては、個別事業ごとに関係者が実施するとともに、代表者と北九州市環境未来都市コンソーシアムにおいて全体の進捗状況確認・評価および見直しを行うことで、PDCAサイクルを回すための取組執行体制を構築した。

また、北九州市環境未来都市コンソーシアムについては、取組みの進捗確認等を行うだけでなく、本市が直面する社会的課題に市民・企業・行政が連携して対応すべく、地域づくりを支える新たな仕組みづくりに向けた検討を開始した。

**推進ボードによる確認**

コンソーシアムを中心に据え、民間企業、行政と各プロジェクトの主体への報告体制が整えられ、自主性を重んじながらも総合的な進捗管理や調整が可能な体制が構築されている。また、長年のネットワークの蓄積を活かして内外都市との連携・ネットワークは着実に強化されており、ベストプラクティス共有の深化が期待出来る。

**推進委員会による確認**

特段ご意見なし。

(参考)取組進捗状況一覧

環境未来都市計画での記載内容													1年目(2012年度)の達成状況					
都市名	取組番号	取組	指標番号	評価指標	価値分類	評価方法	基準値	1年目の目標値	2年目の目標値	3年目の目標値	4年目の目標値	5年目の目標値	1年目の目標値	1年目の実績値	単年度の達成度	5年目標に対する達成度	進捗状況説明	
福岡県 北九州市	取組01	【①-1-a】1) 総合的な地域エネルギー基本政策	指標01	低炭素で安定・安価なエネルギー拠点の形成	環境	進捗率評価	-	総合的な地域エネルギーの基本政策の立案	事業化に向けた調査の実施			地域エネルギーマネジメントの構築	総合的な地域エネルギーの基本政策の立案	総合的な地域エネルギーの基本政策の立案	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。	
	取組02	【①-1-a】2) 北九州スマートコミュニティ創造事業	指標02	二酸化炭素排出量の削減率(%)	環境	定量評価	30	35	40				50	45	300%	75%	・当初計画以上に事業が進捗した。(削減率の実績値は暫定値)	
	取組03	【①-1-a】3) 城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業	指標03	二酸化炭素排出量(t-CO2)(整備完了後)	環境	進捗率評価	-	土地区画整理事業の着手(まちびらき後にCO2の削減効果が現れるため)	宅地の一部を処分(まちびらき後にCO2の削減効果が現れるため)				3000		100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・CO2の削減効果が現れるまでは進捗率評価とする。	
	取組04	【①-1-b】1) ① 身近な公共施設(小中学校等)を活用した省エネ推進事業(低炭素社会の普及推進事業)	指標04	エコスクールモデル事業の実施校数	環境	進捗率評価	-	グリーンカーテン(小2・中2) ミスト発生装置の設置(小10・中6) 屋上遮熱塗装の実施(小2・中2) 省エネ太陽光発電設備の設置(小2・中1・特1) LED体育館照明(小5・中2)	小学校1校						100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・毎年度目標値の規模が異なるため、単年度ごとに進捗率評価を行う。	
	取組05	【①-1-b】1) ② 公共施設省エネ創エネ事業	指標05	市有施設の電力使用量の削減率(%)	環境	定量評価	-	10	10				10	10	100%	20%	・平成24年度の値は平成25年5月末現在で算出不能のため、平成23年度の値により評価している。 ・基準値からの増減を評価する取組ではないため、目標値に対する実績値で評価する。 ・単年度目標を5年間繰り返すため、5年目標は単年度目標の1/5とする	
	取組06	【①-1-b】1) ③ 道路照明・公園照明等のLED化	指標06	照明灯のLED化数(道路)(灯数)	環境	定量評価	0	1,900	1,900				9,200	1,900	4,060	214%	44%	・当初計画以上に事業が進捗した。
	取組07	【①-1-b】1) ④ 小倉都心・黒崎副都心の低炭素型まちづくり推進	指標07	二酸化炭素削減量(万t-CO2/年)	環境	定量評価	0	1.35	1.35				1.35	1.35	-	N.A.	N.A.	※プラン(～平成25年度)終了後に集計予定。
	取組08	【①b】1) ① 市民や事業者向けの再生可能エネルギー導入費用補助 ⑤ 住宅用太陽光発電システム導入支援事業 ⑥ 中小企業省エネ設備導入促進補助 ⑦ 企業の省エネルギー・省エネルギーの設備導入の促進を支援する環境産業融資	指標08	中小企業省エネ設備導入促進補助(件数)	環境	定量評価	-	60	90				-	60	125	208%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・基準値からの増減を評価する取組ではないため、目標値に対する実績値で評価する。
	取組09	【①-1-b】2) 大規模太陽光発電の導入促進	指標09	太陽光発電の新規導入量(MW)	環境	定量評価	0	10	10				50	10	4.8	48%	10%	・平成24年度は計画値に対して達成率が48%であったが、平成25年度には34.5MWが稼働予定であり、事業全体としては計画どおり進捗している。
	取組10	【①-1-b】3) 大規模風力発電の導入促進等	指標10	風力発電システム導入量(計画策定後)	環境	進捗率評価	-	総合的な地域エネルギーの基本政策の立案	事業化に向けた調査の実施				地域エネルギーの基本政策の立案 ・基本政策に基づく大型風力発電導入量の設定	総合的な地域エネルギーの基本政策の立案	総合的な地域エネルギーの基本政策の立案	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。
	取組11	【①-1-b】4) ① 皇后崎工場基幹設備改良事業	指標11	工場の基幹設備の完了	環境	進捗率評価	-	・工事発注に係る契約事務 ・請負者による詳細設計及び機器製作	3号焼却炉に係る改良工事				工場の基幹設備の完了	・工事発注に係る契約事務 ・請負者による詳細設計及び機器製作	・工事発注に係る契約事務 ・請負者による詳細設計及び機器製作	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。
	取組12	【①-1-b】4) ② エコフロンティアパークのグリーンショールーム化	指標12	グリーンショールーム化	環境	進捗率評価	-	・PR設備充実に向けた検討・実施 ・省エネ・省エネルギーの設備導入の促進を支援する環境産業融資	・PR設備充実に向けた検討・実施 ・省エネ・省エネルギーの設備導入の促進を支援する環境産業融資				低炭素・資源循環・自然共生の3要素を一体化した産業モデルの構築	・PR設備充実に向けた検討・実施 ・省エネ・省エネルギーの設備導入の促進を支援する環境産業融資	・PR設備充実に向けた検討・実施 ・省エネ・省エネルギーの設備導入の促進を支援する環境産業融資	100%	100%	・当初計画どおり事業が進捗した。
	取組13	【①-1-b】5) グリーンイノベーション研究開発の推進	指標13	新規研究開発プロジェクト(件数)	環境	定量評価	0	15	15				75	15	16	107%	21%	・当初計画どおり事業が進捗した。
	取組14	【①-1-c】1) 主要な公共交通軸の高機能化	指標24	低床式バスの導入(台)	社会	定量評価	0	5	10				45	5	5	100%	11%	・当初計画どおり事業が進捗した。
	指標25		低床車両の導入(編成数) ※筑豊電気鉄道、北九州モノレール	社会	進捗率評価	-	低床車両導入の検討	低床車両の詳細設計					3	低床車両導入の検討	低床車両導入の検討	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・低床車両の導入開始までは進捗率評価とする。
	取組15	【①-1-c】2) ④ 自転車利用環境の向上	指標14	自転車利用環境の向上	環境	進捗率評価	-	自転車利用環境計画の策定	自転車走行空間の整備計画の作成				自転車利用環境計画の策定	自転車利用環境計画の策定	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・「自転車利用環境計画」推進の中で具体的な目標値を設定するまでは進捗率評価とする。	
	取組16	【①-1-c】4) 3) モーダルシフトの推進	指標15	CO2排出量削減(t-CO2)	環境	定量評価	0	6,900	6,900				34,500	6,900	4,244	62%	12%	・平成24年度は計画値に対して達成率が約60%であった。今後もモーダルシフトの推進に向けたPR活動を継続していく予定である。
	取組17	【①-1-c】4) 公共交通の利用促進に向けた市民の意識啓発	指標15	CO2排出量削減(t-CO2)	環境	定量評価	0	925	1,425				13,125	925	1,025	111%	8%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・CO2排出削減量は、指標13-1・指標13-3・指標13-6の合計とする。
	取組18	【①-2-a】1) 実践的環境人材育成拠点の形成	指標40	国際環境研修員受入数(人)	経済	定量評価	-	420	430				2,200	420	900	214%	41%	・当初計画以上に事業が進捗した。 ・基準値からの増減を評価する取組ではないため、目標値に対する実績値で評価する。
	取組19	【①-2-a】2) 戦略的環境国際協力の推進	指標41	戦略的環境国際協力事業の件数(件数/年)	経済	定量評価	-	3	4				6	3	3	100%	50%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・基準値からの増減を評価する取組ではないため、目標値に対する実績値で評価する。
	取組20	【①-3-a】1) ① 環境首都100万本植樹	指標16	植樹本数(本)	環境	定量評価	-	67,000	67,000				335,000	67,000	65,724	98%	20%	・概ね当初計画どおり事業が進捗した。 ・基準値からの増減を評価する取組ではないため、目標値に対する実績値で評価する。
	取組21	【①-3-a】2) ① 里地里山の保全や利用	指標17	管根干渴の生物種数の減少(種数) (生物種数が減少しないこと)	環境	進捗率評価	-	0	0				0	0	0	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・単年度目標を5年間繰り返すため、5年目標は単年度目標の1/5とする。
	取組22	【①-3-b】1) 北九州環境みらい学習システム(ESD)の推進	指標18	エコツアー参加者(人)	環境	定量評価	-	120,000	140,000				200,000	120,000	115,000	96%	58%	・概ね当初計画どおり事業が進捗した。 ・基準値からの増減を評価する取組ではないため、目標値に対する実績値で評価する。
	取組23	【①-3-b】2) 環境修学旅行による誘客促進及び北九州ブランド化	指標19	誘客数(人)	環境	定量評価	-	15校 1,200人 3団体 200人	22校 1,600人 6団体 300人				100校 9,000人 25団体 2,000人	15校 1,200人 3団体 200人	21校 1,545人 7団体 128人	142%	18%	・当初計画以上に事業が進捗した。 ・基準値からの増減を評価する取組ではないため、目標値に対する実績値で評価する。 ・単年:(21/15=140%、1545/1200=129%、7/3=233%、128/200=64%)⇒Ave:142% ・5年:(21/100=21%、1545/9000=17%、7/25=28%、128/2000=6%)⇒Ave:18%
	取組24	【①-4-a】1) 使用済み小型電子機器等からのレアメタル回収	指標20	使用済み小型電子機器等回収量(t)	環境	定量評価	-	5	500				1200	5	5	100%	0%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・基準値からの増減を評価する取組ではないため、目標値に対する実績値で評価する。
取組25	【①-4-a】2) 使用済みリチウムイオン電池のリユース・リサイクル技術及びシステムの開発	指標21	使用済みリチウムイオン電池の回収量(t)	環境	定量評価	0	-	-				9,000	-	-	N.A.	N.A.	・当初計画どおり実証研究を実施	

(参考)取組進捗状況一覧

環境未来都市計画での記載内容													1年目(2012年度)の達成状況						
都市名	取組番号	取組	指標番号	評価指標	価値分類	評価方法	基準値	1年目の目標値	2年目の目標値	3年目の目標値	4年目の目標値	5年目の目標値	1年目の目標値	1年目の実績値	単年度の達成度	5年目標に対する達成度	進捗状況説明		
福岡県 北九州市	取組26	【①-4-a】3) 太陽光発電(PV)システムの汎用的なリサイクル技術の開発	指標22	研究開発の実施(件数)	環境	進捗率評価	-	太陽光発電システムのリサイクル研究開発施設の整備	研究開発の実施				-	太陽光発電システムのリサイクル研究開発施設の整備	太陽光発電システムのリサイクル研究開発施設の整備	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。	
	取組27	【①-4-a】6-4) 市民が一体となった3Rの推進(北九州市循環型社会形成推進基本計画の実践)	指標23	プラスチック製容器包装の分別協力率(%)	環境	定量評価	-	48	48.5				50	48	44.1	92%	17%	・概ね当初計画どおり事業が進捗した。 ・基準値からの増減を評価する取組ではないため、目標値に対する実績値で評価する。 ・5年目標に対する評価は、基準値(42.9=0)から目標値(50=100)への達成度で行う。	
	取組28	【②-1-a】地域連携による健康の維持・向上	指標26	健康づくりの取組が充実してきたと感じる市民の割合(%)	社会	定量評価 ※アンケート未実施年度は進捗率評価	26.7	26.7	26.7					28.0	「地域でGO!GO!健康づくり」の実施	「地域でGO!GO!健康づくり」の実施	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・アンケート調査未実施年度については、取組における進捗率評価とする。 ※アンケート調査(地域福祉に関する市民意識調査)は、H26年度に実施予定。
	取組29	【②-1-b】救急医療体制、リハビリテーション体制の充実	指標27	地域医療の取組が充実してきたと感じる市民の割合(%)	社会	定量評価 ※アンケート未実施年度は進捗率評価	15.9	15.9	15.9					17.5	第2夜間・休日急患センター移転整備事業の実施	第2夜間・休日急患センター移転整備事業の実施	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・アンケート調査未実施年度については、取組における進捗率評価とする。 ※アンケート調査(地域福祉に関する市民意識調査)は、H26年度に実施予定。
			指標28	地域リハビリテーションの取組が充実してきたと感じる市民の割合(%)	社会	定量評価 ※アンケート未実施年度は進捗率評価	15.4	15.4	15.4					17.2	リハビリテーション連携推進事業の実施	リハビリテーション連携推進事業の実施	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・アンケート調査未実施年度については、取組における進捗率評価とする。 ※アンケート調査(地域福祉に関する市民意識調査)は、H26年度に実施予定。
	取組30	【②-1-c】障害児者の先進的リハビリテーションの充実	指標28	地域リハビリテーションの取組が充実してきたと感じる市民の割合(%)	社会	定量評価 ※アンケート未実施年度は進捗率評価	15.4	15.4	15.4					17.2	総合療育センターを拠点とした支援事業の実施	総合療育センターを拠点とした支援事業の実施	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・アンケート調査未実施年度については、取組における進捗率評価とする。 ※アンケート調査(地域福祉に関する市民意識調査)は、H26年度に実施予定。
			指標27	地域医療の取組が充実してきたと感じる市民の割合(%)	社会	定量評価 ※アンケート未実施年度は進捗率評価	15.9	15.9	15.9					17.5	総合療育センター再整備の検討	総合療育センター再整備の検討	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・アンケート調査未実施年度については、取組における進捗率評価とする。 ※アンケート調査(地域福祉に関する市民意識調査)は、H26年度に実施予定。
	取組31	【②-2-a】住民主体の健康づくりの推進	指標29	高齢者が自分自身の健康状態を「よい」又は「まあよい」と感じる割合(%)	社会	定量評価 ※アンケート未実施年度は進捗率評価	38	38.0	38					42.8	健康マイレージ事業の実施	健康マイレージ事業の実施	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・アンケート調査未実施年度については、取組における進捗率評価とする。 ※アンケート調査(高齢者等実態調査)は、H25年度に実施予定。
	取組32	【②-2-b】健康で元気な高齢者をつくる多世代交流事業	指標30	1年間に地域活動に参加した高齢者の割合(%)	社会	定量評価 ※アンケート未実施年度は進捗率評価	40.9	40.9	40.9					44.5	平塚市初修小学校及び北九州穴生ドーム運営事業の実施	平塚市初修小学校及び北九州穴生ドーム運営事業の実施	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・アンケート調査未実施年度については、取組における進捗率評価とする。 ※アンケート調査(高齢者等実態調査)は、H25年度に実施予定。
			指標31	就業したり自治会役員、ボランティア等社会貢献する高齢者の割合(%)	社会	定量評価 ※アンケート未実施年度は進捗率評価	20	20.0	20					22.0	「高齢者生きがい活動ステーション」の開設	「高齢者生きがい活動ステーション」の開設	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・アンケート調査未実施年度については、取組における進捗率評価とする。 ※アンケート調査(高齢者等実態調査)は、H25年度に実施予定。
	取組33	【②-2-c】地域福祉ネットワーク北九州モデルの充実・強化	指標32	市民が地域における見守り、支え合いのネットワークが充実してきたと感じる割合(%)	社会	定量評価 ※アンケート未実施年度は進捗率評価	20	20.0	20					22.0	ネットワーク事業の実施(企業との連携強化)	ネットワーク事業の実施(企業との連携強化)	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・アンケート調査未実施年度については、取組における進捗率評価とする。 ※アンケート調査(地域福祉に関する市民意識調査)は、H26年度に実施予定。
			指標33	認知症サポーター養成数(人)	社会	定量評価	30,000	33,000	36,000					40,000	33,000	37,816	220.9%	66.3%	・当初計画以上に事業が進捗した。 ・単年度目標・5年目標ともに基準年度(H23年度目標:30000人、H23年度実績:31189人)からの増加数を評価した。
	取組34	【②-2-d】障害者相談支援体制の整備と地域支援	指標32	市民が地域における見守り、支え合いのネットワークが充実してきたと感じる割合(%)	社会	定量評価 ※アンケート未実施年度は進捗率評価	20	20.0	20					22.0	・障害者相談支援の継続実施 ・北九州市障害者基幹相談支援センター	・障害者相談支援の継続実施 ・北九州市障害者基幹相談支援センター	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・アンケート調査未実施年度については、取組における進捗率評価とする。 ※アンケート調査(地域福祉に関する市民意識調査)は、H26年度に実施予定。
	取組35	【②-3-a】1) 環境未来都市にふさわしい人材の育成	指標34	環境学習体験校(校)	社会	定量評価	-	140	130					140	140	146	104%	21%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・基準値からの増減を評価する取組ではないため、目標値に対する実績値で評価する。 ・単年度目標を5年間繰り返すため、5年目標は単年度目標の1/5とする。 ⇒小学校132校(分枝含む)+幼稚園8園=140校・園
	取組36	【②-3-a】2) 地域と絆を結び、世代をつなぐ教育の推進	指標35	スクールヘルパー延べ活動人数(人)	社会	定量評価	-	111,250	115,000					115,000	111,250	121,548	109%	22%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・基準値からの増減を評価する取組ではないため、目標値に対する実績値で評価する。 ・単年度目標を5年間繰り返すため、5年目標は単年度目標の1/5とする
	取組37	【②-3-a】3) いつまでも「健康」でいきいきと生活できる環境づくり	指標36	体育の授業以外で継続的な体力向上を図る取組をしている学校の割合(%)	社会	定量評価	-	100	100					100	100	100	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・基準値からの増減を評価する取組ではないため、目標値に対する実績値で評価する。 ・単年度目標を5年間繰り返すため、5年目標は単年度目標の1/5とする
	取組38	【②-3-a】4) 特別な支援を必要とする子どもの教育の推進	指標37	特別支援学級設置校数(学級数)	社会	定量評価	102	110	120					120	110	114	150%	67%	・当初計画以上に事業が進捗した。 ・5年目標は基準年度(H22年度:102校)からの伸び率とする
	取組39	【②-3-b】“北九州”「元気発進！子どもプラン」の推進	指標38	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合(%)	社会	定量評価	-	55.2	55.9					70	55.2	55.9	101%	80%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・基準値からの増減を評価する取組ではないため、目標値に対する実績値で評価する。
	取組40	【②-3-c】小児救急医療・周産期医療体制の充実	指標39	子育て支援の取組が充実してきたと感じる市民の割合(%)	社会	定量評価 ※アンケート未実施年度は進捗率評価	21.3	21.3	21.3					22.8	周産期・小児救急体制の継続実施	周産期・小児救急体制の継続実施	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・アンケート調査未実施年度については、取組における進捗率評価とする。 ※アンケート調査(地域福祉に関する市民意識調査)は、H26年度に実施予定。
	取組41	【③-1-a】スマートコミュニティ創造事業などの成果を活用した被災地復興支援(岩手県釜石市)	指標47	-	-	-	-	-	-					-	-	N.A.	N.A.	※指標なし	
	取組42	【③-1-b】地域が主体となった被災者支援	指標47	-	-	-	-	-	-					-	-	N.A.	N.A.	※指標なし	
	取組43	【③-1-c】ディザスタリカバリ拠点の形成	指標42	データセンター延床面積(m <sup>2</sup> )	経済	定量評価	14,000	17,000	20,000					27,000	17,000	17,000	100.0%	23.1%	・当初計画どおり事業が進捗した。 ・単年度目標・5年目標ともに基準年度(H23年度:14,000m <sup>2</sup> )からの増加数を評価する。
	取組44	【③-2-a】アジア低炭素化センター	指標43	グリーンシティの輸出(累計)(都市)	経済	進捗率評価	-	「北九州モデル」の構築	案件発掘・形成					3	「北九州モデル」の構築	「北九州モデル」の構築	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。
			指標44	国際ビジネス案件数(累計)(件数)	経済	定量評価	3	5	7					15	5	5	100%	17%	・当初計画どおり事業が進捗した。
	取組45	【③-2-c】官民連携による海外水ビジネスの展開	指標45	技術・ノウハウのパッケージ輸出	経済	進捗率評価	-	契約獲得	契約獲得					契約獲得	契約獲得	100%	20%	・当初計画どおり事業が進捗した。	